

**特 集**

●10/22（木）開催！JMRAアニュアル・カンファレンス2026

TOPICS

- インターネット調査サステナブル宣言を発表
- 開催報告：著者が語るシリーズ2026 第2回（2026年9月29日）

Vol.108**2026/10/20 配信**

10月も下旬に差しかかり、朝夕はめっきり涼しくなりました。木々も少しずつ色づき始め、ようやく秋の深まりを感じられる季節となりました。さて、前号でもご案内した「JMRAアニュアル・カンファレンス2026」が、いよいよ明後日10月22日（木）、ベルサール渋谷ファーストにて開催されます。テーマは「OPEN INSIGHT」。青山学院大学・原晋監督による基調講演をはじめ、生活者への理解を新たな価値や意思決定へとつなげるためのヒントが詰まった、多彩なセッションをご用意しています。マーケティング・リサーチから「インサイト産業」へ——。業界の今とこれからを、参加される皆さまとともに考える一日になればと思います。会場でお会いできることを楽しみにしております。今月号も、JMRAの取り組みとともに最新の業界情報をお届けします。

＜JMRAウェブ・メルマガ委員会＞

[メルマガ登録について詳しくはこちら](#)

特 集

10/22(木)開催!
(参加無料・要事前登録)

JMRAアニュアル・カンファレンス2026

テーマ OPEN INSIGHT— 人とAIがひらく、情報価値の最大化 —

青山学院大学 原 晋氏登壇!

10/22 (木) 開催！JMRAアニュアル・カンファレンス2026 テーマ「OPEN INSIGHT— 人とAIがひらく、 情報価値の最大化 —」 青山学院大学 原 晋氏登壇！（参加無料・要事前登録）

10月22日（木）、ベルサール渋谷ファーストにて「JMRAアニュアル・カンファレンス2026」を開催します。

今年のテーマは「OPEN INSIGHT」。基調講演には青山学院大学陸上競技部長距離ブロック監督の原 晋氏をお迎えし、「人とデータと組織」のシナジーを紐解きます。

生成AIエージェントによる業務革新や、これからの時代にリサーチャーが「本」から得るべき力、調査の未来を守るサステナブル宣言など、多彩なプログラムを用意。

これからの“インサイト産業”の未来を描く特別な1日。ぜひお申し込みください（参加無料・要事前登録）。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS

インターネット調査品質委員会

インターネット調査サステナブル宣言

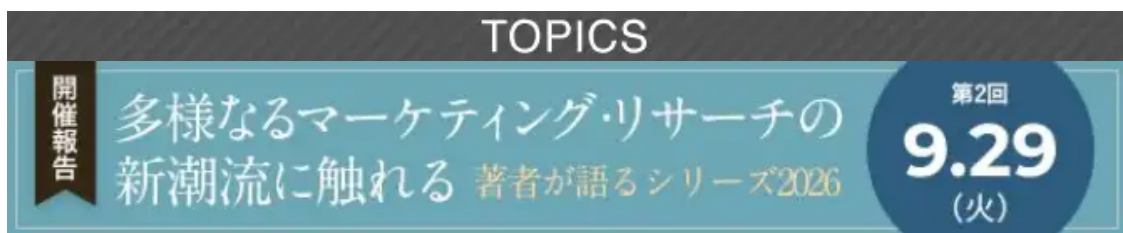
インターネット調査サステナブル宣言を発表

JMRAインターネット調査品質委員会は、インターネット調査に関わるすべての関係者が実行すべき行動規範として、「インターネット調査サステナブル宣言」を策定しました。

インターネット調査を支えるモニターパネルは、若年層を中心に、将来にわたる維持が困難な状況にあります。本宣言では、モニター・クライアント・業界を守るために、「モニター体験価値の向上」「調査設計の品質確保」「スクリーニング調査の適正化」「業務プロセスの再設計」「業界全体での協働」の5つの方針と、業界全体で実行する具体的なアクションを示しています。

調査の企画・設計に携わる皆様、そしてクライアント企業の皆様に、ぜひご一読いただき、日々の調査にお役立てください。

[詳しくはこちら](#)



開催報告：著者が語るシリーズ2026 第2回（2026年9月29日）

本シリーズの第2回は、デジタルハリウッド大学教授兼メディアライブラリー館長の橋本大也氏をお迎えしました。テーマは、ベストセラー『頭がいい人のChatGPT & Copilotの使い方』ですが、単なる本の解説にとどまらず、実際のプロンプトや最新ツールの「実例」が次々と飛び出す、実にエキサイティングな時間となりました。

[詳しくはこちら](#)



研究報告：テンソル分解のマーケティングへの適用可能性

データサイエンス研究会の研究ノートより

JMRA教育研修委員会、リサーチ・イノベーション部会内のデータサイエンス研究会では、「因果探索」を今期の共通テーマに研究を進めています。因果関係を適切に捉えるためには、複雑で大規模なデータセットから、重要な構造を保ちながら情報を整理・圧縮する技術が欠かせません。その有力な方法の一つが「テンソル分解」です。

テンソルとは、行列を超立体に拡張したデータの表現形式であり、「誰が、何を、どこで、いつ」といった多相的な情報を、その構造を保ったまま扱うことができます。本研究ノートでは、マーケティングリサーチになじみの深いSD法がその後の3相因子分析、高階特異値分解（HOSVD）の源流になったという、ユニークな視点からテンソルの歴史を紹介し、テンソル分解の概念を解題します。

さらに、データ圧縮やシンセティックデータ生成、POSデータ、広告効果分析など、マーケティング分野での応用可能性と今後の課題を展望しています。数式を含む専門的な内容ですが、多相的なデータを分析する視点として、ぜひご一読ください。

[詳しくはこちら（PDF:499KB）](#)



参加報告：APRC 2026 バンコク

What matters to people and beyond
「人と社会、そしてその先の未来に向けて
大切にしたいこと」

APRCは、アジア・パシフィック地域の9カ国のマーケティング・リサーチ協会による団体で、毎年各国でAPRC代表による会議とカンファレンスを実施

し、特にアジア・パシフィック地域のリサーチ業界関係者と課題を共有し、リアルに交流を深める機会となっています。

去年は、日本でJMRA50周年に合わせてAPRCカンファレンスも同時開催されましたが、今年はタイ、バンコクにて世界の業界の最新トレンド、各国のマーケティング・リサーチ事例についての発表が行われました。

今回のカンファレンスは、「人と社会、そしてその先の未来に向けて大切にしたいこと」(What matters to people and beyond) がテーマでした。今回のカンファレンスの中で特に印象に残ったものを紹介します。

[詳しくはこちら](#)

連 載

JMRA マーケティングデータ・ストレージ ピックアップセクション

最近JMRAマーケティングデータ・ストレージに掲載された会員社の自主調査から、ウェブ・メルマガ委員会が精選した自主調査をご紹介します。

今月の注目調査

●クマへの危機感に“温度差” 秋レジャーにみるアウトドア層と非アウトドア層の行動変容を分析！

(2026.9.30 (株)マクロミル)

クマ被害の増加が秋のレジャー意識に与える影響を分析した調査レポートです。アウトドア層と非アウトドア層のリスク認識や行動変容の「温度差」を明らかにし、時事ニュースに対する消費者のリアルな反応を解説します。

[詳しくはこちら \(JMRAマーケティングデータ・ストレージ\)](#)

今月の注目調査

●BtoB企業の社内稟議・承認プロセス実態調査2026

(2026.9.11 (株)ネオマーケティング)

BtoB企業の社内稟議・承認プロセスに関する調査レポートです。約6割が直面する「差し戻し・断念の壁」の実態をはじめ、承認に影響を与える費用対効果 (ROI) 試算の重要性や、営業資料の活用効果を紐解きます。

[詳しくはこちら \(JMRAマーケティングデータ・ストレージ\)](#)

連 載

What's happened? おすすめ記事をピックアップしてご紹介

広告・マーケティングの最新動向がわかるマーケター向け専門メディア
「MarkeZine」から、おすすめ記事をピックアップしてご紹介いたします。

今月の注目記事

●分析の前に一度立ち止まる勇気を
仮説を検証可能な数字に翻訳する
「分析設計」5つの基本とAIの使い所

詳しくはこちら（外部サイト：
MarkeZine）

今月の注目記事

●経営企画から見たブランドと、マー
ケターの考えるブランドは何が違う
なぜいま経営企画がブランディング
領域に関心を寄せているのか？

詳しくはこちら（外部サイト：
MarkeZine）



シンギュラリティ観察ネコ日記 第3回：リサーチはグラウンディング産業化 するかもスリスリ。

JMRAに2026年度より新設された「教育研修委員会 業務AI活用教育部会」（略称：AI教育部会）より連載日記「シンギュラリティ観察ネコ日記」をお届けします。

本日記ではAIへの筆者の思いと「AI教育部会」活動を告知していきます。
第3回は、AIが人間の回答をどこまで再現できるのかという最新研究を手掛かりに、「リサーチはAIに代替されるのか？」という問いに迫るぞ、ニャー。生成AI時代だからこそ高まるリサーチの価値とは何か。吾輩と一緒に考えてみましょう。
ぜひご覧ください。

「AIに書かせるプログラミングとデータ処理講座」は本メルマガ内（少し下にスクロール）にてご案内しています。

[詳しくはこちら](#)

教育講座・セミナー案内

多様なマーケティング・リサーチの
新潮流に触れる 著者が語るシリーズ2026【ウェビナー】

第3回
11.5
(木)

●セミナー委員会主催セミナー：著者が語るシリーズ2026

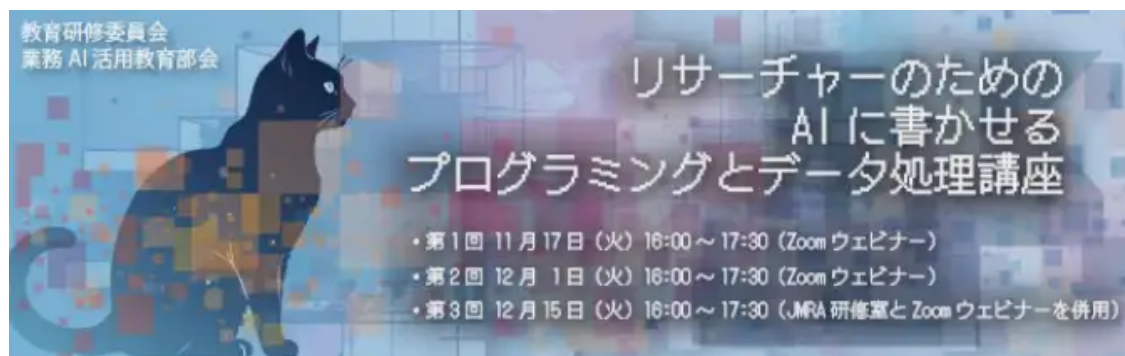
第3回 新版「欲しい」の本質 人を動かす無自覚な欲求「インサイト」の 見つけ方

市場の成熟化、コモディティ化が進む中で、ヒットを生む鍵として注目されている「インサイト」。本書は、豊富な実績を持つインサイトの第一人者が、業務においてインサイトを活用・実践するためのノウハウを詳細解説します。インサイトの見つけ方から活用方法まで磨き上げ、体系化したロジックと、それを実践する具体的な方法論を紹介しています。

売れなくなっている商品を再生したい、イノベーションを起こす商品・事業を開発したい、今までにないアイデアを考案したい、そんなすべての方に役立ちます。

- ・日程（ライブ配信）：2026年11月5日（木）12:00～13:30
- ・会場：Zoomウェビナー

[詳しくはこちら](#)



教育研修委員会
業務 AI 活用教育部会

リサーチのための
AI に書かせる
プログラミングとデータ処理講座

- ・第1回 11月17日（火）16:00～17:30（Zoom ウェビナー）
- ・第2回 12月 1日（火）16:00～17:30（Zoom ウェビナー）
- ・第3回 12月15日（火）16:00～17:30（JMPA 研修室と Zoom ウェビナーを併用）

●リサーチのための「AIに書かせるプログラミングとデータ処理」講座

クライアント保有データをクラウドのAIに直接渡せない場面は多い。結果としてリサーチの現場での生成AIの活用は進まない事になりがちという話を聞きます。しかし、リサーチャーが直接プログラミングできるとなると話は別です。

生成AIによるコーディングエージェントが登場したことで、ITエンジニア、プログラマの仕事のあり方が大きく変わりつつあります。AIに作成したい内容をつたえてAIにプログラムを書かせるという方法があまりにも効率的であるために、自分では一切プログラムを書かなくなったという有名なエンジニアもたくさんいます。

このAIにプログラムを書かせて、データを処理するというアプローチは、リサーチ現場でのAI活用を進化させる可能性があります。つまりAIはデータを見ない。AIが書くのはコードであり、データに触れるのは手元の実行環境ということです。

本講座は「もっと高度なAI活用」を教える上級講座ではなく、リサーチャーにとって距離があったプログラミングをAIで上手に活用できるようにする方法を教える講座です。

・日程（ミックス講座）：

第1回：11月17日（火） 16:00～17:30

第2回：12月1日（火） 16:00～17:30

第3回：12月15日（火） 16:00～17:30

・会場

第1回・第2回：Zoom ウェビナー

第3回：JMRA研修室とZoomウェビナーを併用

[詳しくはこちら](#)



●【会員限定】西日本コラボレーション研究会 10周年記念イベント

西日本コラボレーション研究会は、発足10周年を記念し、交流を中心とした周年イベントを開催します。

当日は、JMRAおよび西日本コラボレーション研究会の歩みを振り返るミニセッションに続き、立食形式の交流会を予定しています。

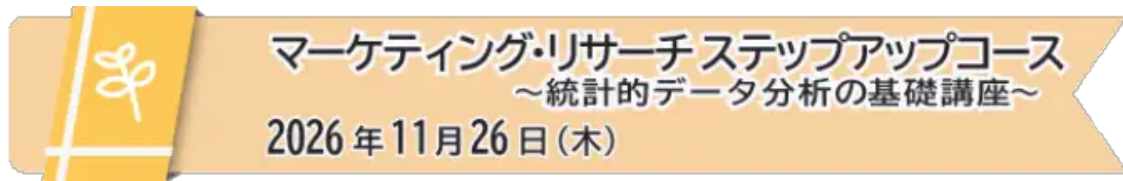
業界や会社の垣根を越え、これまでのつながりを深めるとともに、新たな出会いや連携のきっかけを生み出す機会です。日頃から研究会活動に参加されている方はもちろん、初めての方もぜひご参加ください。

皆さまとともに10周年を祝い、これからの西日本エリアのマーケティング・リサーチ業界について語り合えることを楽しみにしています。

・日程：2026年11月19日（木） 17:00～19:00

・会場：SMG貸し会議室 東梅田セミナールーム・大（ホテル関西内）

[詳しくはこちら](#)



●マーケティング・リサーチ ステップアップコース

～統計的データ分析の基礎講座～ 業務経験3年以上の社員対象

本講座では、まず統計手法を用いたデータ分析において基礎知識として必要となる「尺度の種類」について触れます。

統計的データ分析では扱うデータの尺度によって制限が生じます。そこで、簡単に「尺度の種類」と、尺度の種類により可能となるデータ分析法について解説します。

このような基礎知識を習得した上で、1変量（ひとつのデータ）の分布の読み取り方と、2変量（2つのデータ）以上の関係についての「クロス集計」、「相関」（各種の「相関係数」）等を学習します。

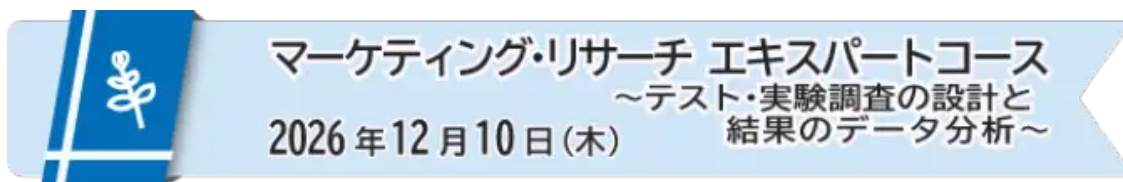
また、分布の特性等の読み取り（「ファインディング」）を行う時、分布や平均値等に差があるかどうかを分析者の判断のみに依存すると、往々にして分析者によって異なる判断となる恐れがあります。

そこで、カテゴリー数が2つずつの2変数のクロス集計表を事例に、「検定」の基本的考え方と手法についても学習します。

本講座は、マーケティング・リサーチの計画担当者、集計担当者、分析担当者には是非お勧めしたい内容です。

- 日程：2026年11月26日（木）10:00～17:00
- 会場：JMRA研修室

[詳しくはこちら](#)



●マーケティング・リサーチ エキスパートコース

～テスト・実験調査の設計と結果のデータ分析～

本講座では、テスト・実験調査の様々な構成要素に関わる計画立案の方法を学習します。さらに、各種のテスト・実験の結果から得られた様々なデータの分析手法も学習します。

テスト・実験調査に関わるこれらの学習によって、目的に即したテスト・実験調査の妥当な計画立案が可能となるとともに、得られたデータから目的に即した信頼できる結果を検出することが可能になるでしょう。

このことは、テスト・実験調査を発注するクライアントの担当者には必須の知識であるとともに、受注する側の調査会社の方にとっても、クライアントと協力してよりよいテスト・実験調査計画立案の助言を行い、妥当な実施を行い、結果から有用な情報を検出・提供する手助けとなるでしょう。

そのため、クライアント・調査会社双方のテスト・実験調査の計画・実施・分析担当者に、ぜひ受講することをお薦めします。

- ・ **日程**：2026年12月10日（木） 10:00～17:00
- ・ **会場**：JMRA研修室

[詳しくはこちら](#)

お知らせ

●JMRAが後援するイベントのご案内

JMRAでは、市場調査業界のドメイン拡張と関連業界とのコラボ促進を目指し、さまざまなイベントへの出展・後援を行っています。今後も各主催団体と連携し、共同研究発表など、お互いのコンテンツをジョイントしていける場を拡張していく予定です。

『HMIC カンファレンス 2026 Conference Programme Insight to Impact インサイトが人をつなぎ、未来をひらく』

（一社）HMICは、ヘルスケア業界におけるインサイト／インテリジェンス業務における知識、技術向上に貢献をすることを目的として2020年に設立されました。設立以降、年に数回のカンファレンス、セミナー等の開催を通じて、業界が抱える課題をテーマに据えて医療、製薬関係者による情報提供や事例紹介、意見交換を行うディスカッションを展開しています。第9回目の開催では、AIがデータ分析を加速する時代において、今求められるデータだけでは見えない「人の願い」や本質を見出す洞察力、インサイトを確かなビジネス成果（インパクト）へとつなげる実践的アプローチを提案し、新たな未来の可能性を共に探ります。

- ・ **日程**：2026年10月28日（水） カンファレンス9:15～18:00（18:00～懇親会）、展示会11:30～19:00
- ・ **会場**：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター（2F WESTホール）
- ・ **主催**：（一社）HMIC ／ 運営：インフォーマ マーケッツ ジャパン（株）

[詳しくはこちら（外部サイト：HMIC Conference 2026）](#)

●11月号は11月17日（火）発行予定です

巻末コラム 小さなオフィスから

コロナ禍に気分転換としてときどき購読していた専門雑誌が休刊になることを、書店で知りました。「最終号」の文字に思わず手が伸び、レジに向かいました。価格は高め。最近は買っていなかったなあ、という小さな罪悪感とともに帰路につきました。

環境はどんどん先へ進みます。その変化すべてに対応できる非凡なリーダーは、簡単には現れないように思います。少なくとも私は、そんなリーダーからは遠い存在です。

なので、ずいぶん前から、誰かの考えに違和感を覚えたときは、ワンテンポ置いて「なぜそう思うのですか」と聞くようにしています。その一言が、自分自身の認識を見直し、判断の精度を上げるきっかけになることがあるからです。正解を出す力は大切です。同じく、何を課題と捉えるのかという問いを共有し、別解も一緒に創り続けることも、大切な気がしています。

◆このメールはメルマガをご登録されている方に配信しています。

◆配信停止を希望される方は以下よりお願いいたします。

<https://www.jmra-net.or.jp/mailnews/>

※JMRAセミナーを受講中の方、JMRAの会員窓口ご担当者様、委員会等に参画されている方が本機能により配信停止を行った場合、セミナーや委員会等に関するご案内も併せて停止されます。メルマガ以外のご案内を引き続きご希望の場合は、以下の配信元アドレスまでご連絡ください。

◆このメールは送信用アドレスから配信しているため、ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

◆プライバシーポリシーは [こちら](#) をご覧ください。

◆配信元：一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-9-9 石川L Kビル2階

<https://www.jmra-net.or.jp/>

office@jmra-net.or.jp

あなたの中に未来がある。